

一般質問

6月定例会では、23人の議員が一般質問を行いました。
本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。
なお、議事録の全文は、県議会ホームページからご覧になれます。
※掲載に時間がかかる場合があります。



鳥取県議会

検索

答弁者説明

答弁者は、記載のないものは知事（副知事および各部局長の答弁も含む）。教育長、警察本部長は知事の部局ではないため、別に表記した。

会派正式名称

【自由民主党】 鳥取県議会自由民主党
【民主とっとり】 鳥取県議会民主とっとり
【公明党】 公明党鳥取県議会議員団



鳥谷 龍司
議員



選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

鳥取県型高専で未来の 人材を育成

問 県立高専の設置は、本県の将来を左右する重要な政策である。地域産業が求める人材をどのように育成し、若者の県内定着につなげる「鳥取県型高専」を目指すのか、知事の考えを伺う。

答 高専設置は本県の将来を見据えた重要な取組。設置の可否を含め検討組織を立ち上げて議論を進める。AI・DX時代に対応した実践的人材や地域産業を支える技術人材の育成を目指すとともに、県内企業との連携を深め、若者の県内定着に繋がる鳥取県型高専の実現を検討していく。



前住 孝行
議員



選挙区 八頭郡
会派 無所属

これまでの防犯対策の 検証と今後の支援

問 昨年度をもって廃止された犯罪から県民を守る防犯機器購入補助金事業の効果検証の所見を知事に。また、街頭防犯カメラ設置補助金等の取組について警察本部長に伺う。

答 無施錠の割合が減っていたり、強盗の認知件数も半減したりと効果があった。犯罪動向を見ながら、今後も市町村・関係団体と検討し、事業化を考える（警察本部長）侵入窃盗被害が本県でも増加。凶悪犯罪抑止のため今回の補正で計上。犯罪抑止や自主防犯意識向上を推進する。



銀杏 泰利
議員



選挙区 鳥取市
会派 公明党

鳥取砂丘コナン空港 障がい者工賃向上事業

問 ①鳥取空港コンセッションへの期待は。積雪が多く立体駐車場設置が必要では②日本財団提案の図書・行政文書デジタル化作業は、B型作業所工賃7万円以上の大変魅力的な事業で、進めるべき。

答 ①49万人の利用者、議員が訴えた空港活性化が日の目を見た。地域振興に期待する。立駐は財源の問題がある。平面拡張の余地はある②緩やかな基準の仕事から着手し、難しい仕事も可能になれば挑戦（教育長）専門性の必要がない仕事を切り出すなど教育委員会でも全面協力する。

山川 智帆
議員

選挙区 米子市
会 派 無所属

**米子駅前通り（県道）
の3車線化について**

問 JR米子駅前通りの3車線化の実証実験では、車道が歩道に変更され、ジグザクな車道となった。地域の住民からも多くの反対の意見を伺っている。3車線化について知事はニュートラルな立場と言われたが、実証実験を経た後、どうトーンが変わったか。

答 ニュートラルは変わらない。米子市議会議員選挙でも議論がなされ、そこで出される民意を米子市も注視するだろう。県としても民意と離れて存在できない役割があるので、議論を見定め、米子市との協議に臨みたい。

鳥羽喜一
議員

選挙区 倉吉市
会 派 自由民主党

**今後の関西広域連合
県立中高一貫校設立**

問 関西広域連合に今後どのように参画していくお考えか。

答 県議会の議決次第であるが、関西広域連合の在り方研究会の結論が今年には出る。年4回の議会開催や費用負担など検討する時期に来ている。

問 公立中高一貫校は全国では一般的な選択肢となっており、生徒からの人気は根強い。本県でも設置を検討する時期に来ているのでは。

答 (教育長) 他の公立中学校、自治体の意見を受け止めながら中高一貫校の検討を進めて参りたい。

玉木 裕一
議員

選挙区 鳥取市
会 派 無所属

**①公共施設の総量削減
②学校施設長寿命化**

問 ①大型事業で総面積増。保有総量の最適化をどう成し遂げるか。知事の政治決断を問う②高校生は3分の1に激減する。施設長寿命化は将来世代へ負担の先送りとなる。統廃合含め早期に決断すべき。

答 ①全施設を対象とし、20年間で面積5%、75,000㎡削減に責任を持つ。市町村と連携し、持続可能な施設管理を強めていきたい②(教育長) 生徒数激減や老朽化は大きな課題。学校の改編を含め、適正な総保有量の維持と県立高校の在り方を慎重に検討し、取組を進める。

鹿島 功
議員

選挙区 西伯郡
会 派 自由民主党

**大山の観光政策
農高と県立高専化構想**

問 ①国立公園満喫プロジェクトに選定された大山をさらに魅力的にし、国内外の誘客を図るための取組は②農業高専ができて倉吉農高がなくなるのか危惧する。県立高専化構想の目指すところは。

答 ①国立公園指定90周年の様々なイベント。登山道の再整備。宿坊や座禅、グルメなど体験活動も生かし、SNSを活用したPRをする②倉吉農高に高専を併設する構想。農高の専門教育の良さを残しつつ、経営ノウハウを学びDXを駆使する高度農業人材の育成を目指す。

前田 伸一
議員

選挙区 鳥取市
会 派 公明党

**介護カスハラ（顧客の
悪質苦情）対策の強化**

問 介護現場の人手不足が懸念される中、10月の対策義務化に向け職員が安心して働ける環境整備が急務だ。本県の実情に即した独自マニュアルの作成や、法的判断に迷った際に弁護士等へ相談できる環境整備を求めるがどうか。

答 本県の先進事例や認知症等の特性を反映した使いやすいマニュアルを関係者と連携し作成する。相談窓口は法律相談と連携している県社会福祉協議会等の既存窓口の活用を念頭に、現場が孤立せず専門的サポートが受けられる体制を整えていく。

河上 定弘
議員

選挙区 米子市
会 派 自由民主党

**建設分野の物価高対策
患者搬送体制の整備**

問 急激な建設単価高騰や資材確保難の対応のため、スライド条項（※）の適切・円滑な適用や工期延長などの柔軟な制度運用を行うべきでは。

答 対応のやり方を整えているところ。工期の調整など丁寧に応じていきたい。

問 高齢者が増える中、救急車の適正利用や搬送サービス向上のため、患者等搬送事業（※）や福祉・介護タクシーなどの県民への周知や関係者の連携強化を進めるべき。

答 地域や関係者の理解を得て、民間救急も含めた資源の活用を進めていきたい。



山本 暁子
議員

選挙区 鳥取市
会 派 自由民主党



AIの進化に伴う社会変化について

問 AIは驚異的な速さで進化し、社会に大変化をもたらす①高専の概念に囚われず、高校と大学が連携するなど自由な発想で社会変化に対応した教育施策の検討を②AX人材(※)の育成と確保を。RAG環境(※)など県庁独自のAIシステム構築も必要③県庁職員も共に学びながら企業へのAX伴走支援を。

答 ①大学とも一緒に議論して進める②階層的な人材育成を行う。RAGも是非研究し実施したい③トヨタ方式のカイゼンとAXを組み合わせるなどAXの高度化を図る。



市谷 知子
議員

選挙区 鳥取市
会 派 無所属



①物価高②食糧法③最低賃金④高専化⑤原発

問 ①物価高対策。中小業者や医療機関に応援金、農林漁業の燃油・資材高に補填②米生産調整止め民間に備蓄依存する食糧法改正の所感③最賃1500円を中小業者賃上げ直接支援と併せて国要望を④高校高専化は知事トップダウン。知事は検討チームに入らず、生徒・保護者・教員の参画を⑤30年間島根原発で間違った燃料支持具。対処は。

答 ①政府への働きかけ含め丁寧に対応②効果を期待③国動向注視④協議会設置し同窓会長・PTA参画⑤調査し文書で強く再発防止求めている。



西村 弥子
議員

選挙区 米子市
会 派 無所属



県民のいのち・人権・働く人を守る県政

問 ①子宮頸がんは根絶できる。HPVワクチン接種勧奨や男性接種の啓発を②子どもの尊厳と自己決定力を育む「包括的性教育」が重要では③本県の介護離職の実態は。介護と仕事の両立支援を国へどう制度改善を求めるか。

答 ①接種100%に向け勧奨を強化。男性定期接種は国の結論を待ち、男性への説明や発信も工夫し取り組む②(教育長) 道徳・人権等幅広に最新の知見を取り入れ、命を守る包括的性教育を推進する③本県も2%あり、重要課題で道半ば。働きかけを強めたい。



中島 規夫
議員

選挙区 鳥取市
会 派 自由民主党



公共工事の発注方針 授粉用蜜蜂の確保

問 災害復旧には建設事業者が必須だが、公共工事が少ないとの声もある。事業者存続のためにも、地域バランスも踏まえ工事を発注すべき。

答 建設業協会等実情をお聞きし、工事の発注時期の標準化と早期発注に努める。

問 果樹等栽培に用いる授粉用の蜜蜂が、蜜蜂に寄生するダニの影響で減少。県としての対策は。

答 養蜂家から実態をお聞きしている。防除方法が重要。専門家を招き、効果的防除法の研修会も開催して、蜜蜂の飼育管理を徹底していく。



尾崎 薫
議員

選挙区 鳥取市
会 派 民主とっとり



部活動の送迎 技術家庭の教員不足

問 新潟の部活バス事故後、私立も含め県は送迎助成金を拡充。文科省は各校に遠征の必要性・移動手段の再検討を要請。各校は検討が必要。

答 すでに通知した。送迎助成は免許確認や交通安全研修等をセットにして運用する。

問 不足する技術家庭等の教員をどう確保するか、また専門教員の複数校兼務は負担が大きい。兼務は減らすべき。

答 (教育長) 定数増を国に要望している。採用の要件を緩和し、実務経験者の教員採用に取り組む。兼務は減らししていきたい。



前原 茂
議員

選挙区 米子市
会 派 公明党



大沢川暗渠 コメ政策

問 米子市の代替排水路工事の加速化とその後の暗渠閉塞工事の工法や工事期間、安全対策について伺う。

答 市と協議して、できるだけ早く工事が完了するよう努力する。その後、暗渠閉塞のモルタル充填工事を2箇年の見込みで行う予定である。

問 県は、飼料用米などの資源米をバイオマスプラスチック原料として、作付拡大を検討すべきではないか。

答 新用途米として、新たな国の交付金などの動向を注視し、生産者や農業団体と協議をしていきたい。



坂野 経三郎
議員

選挙区 鳥取市
会 派 民主とっとり



特殊詐欺被害から県民を守る効果的な対策を

問 県内の特殊詐欺被害は約11億円で過去最悪を更新。その内、約8割が電話で、その約7割が国際電話での被害。単純計算で5億円以上が国際電話からの被害。海外に家族がいる私ですら、LINE等の無料テレビ電話等でやり取りするため、高額な国際電話は不要。殆ど誰も必要としない国際電話で5億円の被害額。国際電話をシャットアウトし、必要な人だけ申請してつなげることを可能にすることが極めて効果的な対策だ。

答 実効性ある対策を急いで実施するよう国に要望する。



東田 義博
議員

選挙区 鳥取市
会 派 自由民主党



関係人口・二地域居住単身高齢者の安全安心

問 ①関係人口や二地域居住の拡大は継続的応援団の創設と新たな価値創造拠点の支援の取組が重要では②中山間地域単身高齢者の生活不安や孤独・孤立リスクに対する危機感と取組は。

答 ①アニメ資源等の活用、都市部ファンクラブ組織化、新たな価値創造拠点の支援で関係人口・二地域居住の拡大を図りたい（**教育長**）他地域就学事業の情報提供をしたい②危機感をもって中山間地域の活動を様々な形で支援したい（**警察本部長**）きめ細かな各種防犯活動に努める。



興治 英夫
議員

選挙区 倉吉市
会 派 民主とっとり



①米価下落②不登校増③美術館集客減

問 ①市場にコメが余り、今年産米が大幅下落する恐れあり。政府に備蓄米を回復するよう要望すべき②不登校の未然防止や居場所として有効な校内サポート教室を増やすべき③企画展の入場者数が減少。広報宣伝や企画内容の検証・見直しが必要だ。

答 ①備蓄米買戻しも含め、コメ価格の安定について国に注意喚起する②（**教育長**）設置校数の拡充を進め、国にも予算増を要望する③おっしゃる通り。観光、教育、地域振興の関係者も入れた検証会議を持ち、運営に生かしたい。



福浜 隆宏
議員

選挙区 鳥取市
会 派 無所属



若者に選んでもらえる円安に強い経済の構築

問 世界的な資材高騰と円安のWパンチを被る地元産業。コスト上昇分の製品・サービスへの転嫁率は本県が37%と鳥根県より10%も低く、給与を上げられない。取適法（※）施行から半年。大手の利益が中小下請けに還元されるようテコ入れと円安を生かした工場県内回帰と攻めの輸出を。

答 大手との価格交渉に関する専門家を派遣しているが、価格転嫁しづらい点は認識。改善を図る事は非常に重要。円安は続く模様で、県内回帰・海外売り込み・観光の戦略的開拓を怠りなく継続する。



川部 洋
議員

選挙区 倉吉市
会 派 自由民主党



工業用水道事業の今後について

問 鳥取地区工業用水については、継続という前提を白紙に戻し、廃止という方向で利用企業との具体的な調整に入るべき。日野川工業用水については、弓ヶ浜区間以降の投資判断の前に、継続と廃止を同一条件で比較した試算を県民に示し、今年度中に将来方向を明確にすべき。

答 最大の論点は産業と雇用であり、工業用水は県民の貴重な財産。代替水源は難しく、料金引上げ、PPPによる経費削減、用途拡大に取り組み、やり尽くした後、廃止しかないなら県議会で発議すべき。



広谷 直樹
議員

選挙区 岩美郡
会 派 自由民主党



①オストメイト対策②分収造林事業

問 ①新たな会員が入会することが重要であり、行政の一步踏み込んだ支援が必要。また、日常生活用具給付額の見直しを②県内の分収造林事業の契約満了後の見通しと森林管理のあり方はどうか。

答 ①県も会と全面的に協調しながら、アプローチを深めていきたい。国への要請で福祉用具事業の適正化、単価アップを求めたい②分収林を伐採しても利益が出ず、契約期間や分収割合などの契約改正に応じていただいている。再造林に向かえるような環境づくりをしていく。

用語解説

4 ページ

■ スライド条項

公共工事などにおいて、賃金水準や物価水準の変動に伴い請負代金額の増額変更を可能とする契約上の制度

■ 患者等搬送事業

高齢者、身体障がい者、傷病者などで緊急性のない方について、認定事業者が専用車で医療機関や社会福祉施設へ送迎する事業

5 ページ

■ AX人材

AI（人工知能）技術を駆使して業務プロセスや組織文化、ビジネスモデルの抜本的な変革を牽引する専門人材

■ RAG環境

RAGはRetrieval-Augmented Generation: 検索拡張生成の略。言語処理に特化したAI機能の内部知識を補うために外部知識を活用する仕組みを構築したシステム環境

6 ページ

■ 取適法

「製造委託等に係る中小受託事業者に対する代金の支払の遅延等の防止に関する法律」の通称



野坂 道明
議員



選挙区 米子市
会 派 自由民主党

県立博物館改修の諸課題について

問 知事は慎重姿勢から一転、博物館改修を年度内に方向付ける考えを示した。しかし、改修は長年停滞し、耐震改修方針決定後も具体化していない。この間、建設費や人件費が高騰し県民負担が増加している。最大のコストは時間であり早期実施を図るべき。

答 (教育長) 文化庁との協議で改修の方向性について理解を得ている。現在、民間活力導入の検討を進めており、秋頃には方向性を定める予定。その後、基本設計や収蔵品移転の検討を進め、改修実現に向け取り組んでいく。



伊藤 保
議員



選挙区 東伯郡
会 派 民主とっとり

令和の米騒動から1年 適正価格実現を求める

問 昨年の今頃は「令和の米騒動」の真っただ中。今年の4月（公社）米穀安定供給確保支援機構から、肥料や薬剤、農具費、労働費が含まれたコスト指標が、精米5キロ当たり2,816円と公表された。生産者、消費者に納得できる米のフェアプライス、適正価格についての認識は。

答 食料システム法の中で、当事者間の価格交渉に一定の義務付けがされており、食料Gメン等に権限が与えられ、指導、勧告、公表が予定されているが、適正なフェアプライスの実現を国に求める。

関西広域連合議会で鳥取県選出議員が活動

関西広域連合は、関西圏の2府6県4政令市で構成され、ドクターヘリの活用等による広域緊急医療体制の充実等、関西全体の防災力強化に向けて着実に取り組んでいるほか、「ワールドマスタースゲームズ2027関西」など、世界中から注目される機会をとらえ、官民の力を結集した広域的かつ戦略的な取組を行うこととしています。

関西広域連合議会は、関西広域連合の議事（議決）機関として、各構成団体の議会から選出された40名の議員で組織され、条例の制定改廃、予算の議決、決算の認定等の議決等を行っています。

本県議会からは、広谷議員、鳥羽議員（いずれも鳥取県議会自由民主党）が選出され、「関西における鳥取県」の視点で、活発な議会活動を行っています。

令和7年度関西広域連合議会における主な質問事項



広谷 直樹 議員

- ドクターヘリの安定的な運航に向けた取組について
(8月定例会一般質問)



鳥羽 喜一 議員

- 広域防災体制の確保に向けた防災庁拠点の関西への誘致について
(7月臨時会一般質問)
- 高市内閣発足における関西広域連合への影響について
(11月臨時会一般質問)
- ドクターヘリの運航について
(2月定例会一般質問)